

2008年度  
都中美 夏の研修会

# 学校教育における美術教育の 役割と意義

岩崎 治彦

平成20年8月21日  
中野ZEROホール

# 生徒と美術科教育を取り巻く社会状況

今後、新たな社会・経済システムとしての「創造社会」が到来すると言われている。

「創造性」…文化的, 芸術的, 経済的価値創造において

中核的な役割を果たす。

ユネスコ芸術教育世界会議(2006年3月, ポルトガル, リスボン)では, 各国が国策として, 芸術教育を各国の基礎教育の教育課程の中に位置付けようとする世界的な潮流があることが報告された。

多くの国々では, 創造力育成のため芸術教育が不可欠であるという認識に立ち, 教育改革を進めようとしている。

# 美術科教育の特質

美術科教育は、専門的な美術教育の入門的な内容を段階的に学習させることを目的とした教育ではない。

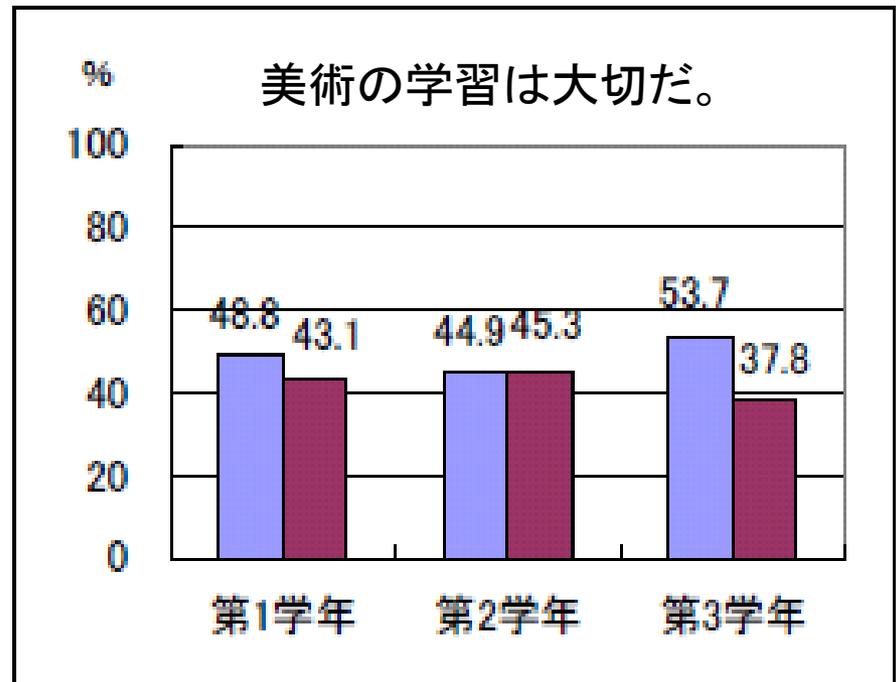
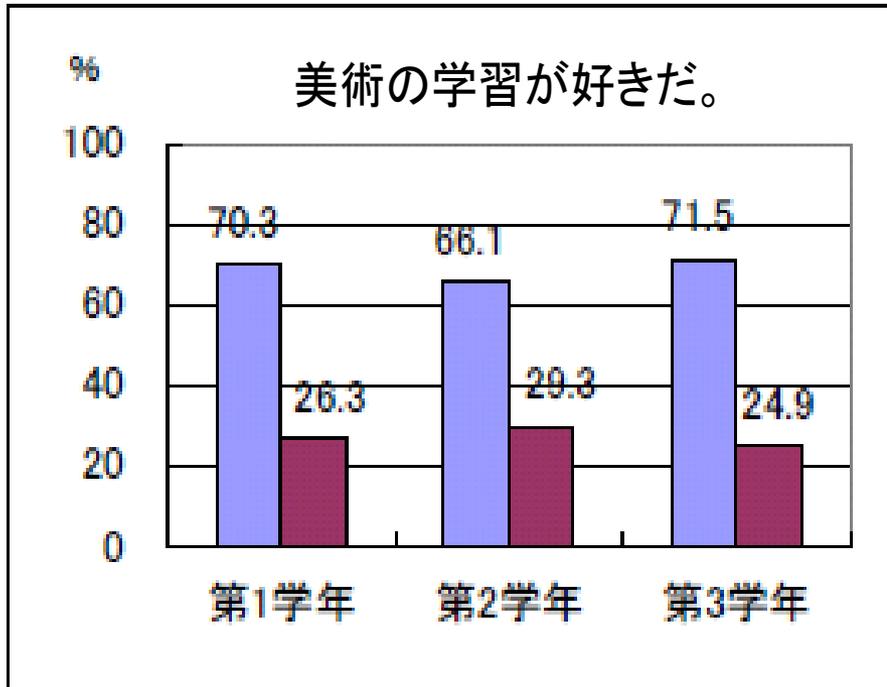
美術科教育の目的は、創造的な諸能力をはぐくむとともに、価値あるものに気付く感覚や深く感じ取るような人間らしい感性を高め、美しいものや崇高なものに感動し、それらを求め続けようとする豊かな心を養うことにある。

創造的な諸能力を、評価の観点に即して分析的に見れば、喜びを実感しながら主体的に創造活動に取り組む力、新しい意味や価値を考え出す力、合目的的に表現を創意工夫する力、意味や価値を読み取り感じ取る力ととらえられる。

美術における表現・鑑賞活動は、これらの創造的な諸能力をはぐくむための手段としての学習活動である。

# 「音楽等質問紙調査」の結果（抜粋）

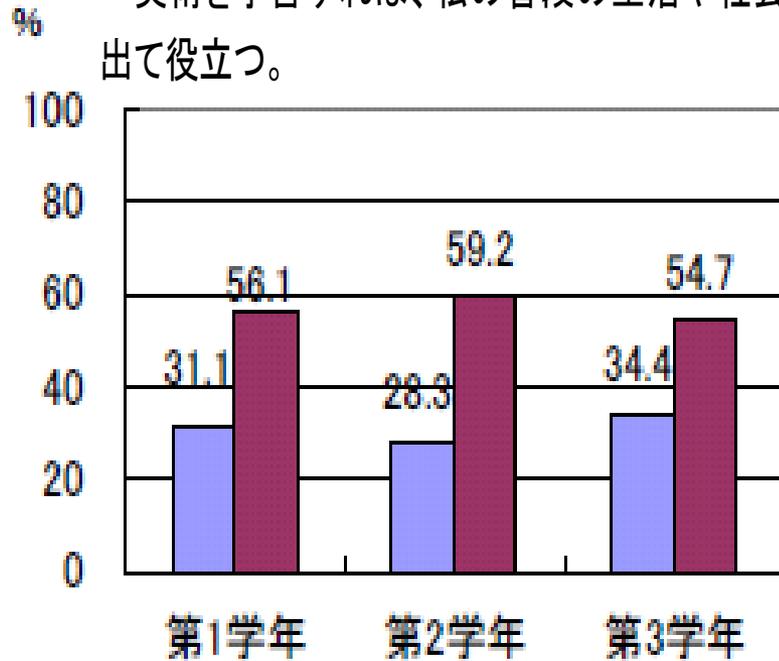
（国立教育政策研究所研究開発部，平成16年度特定の課題に関する調査と併せて実施）



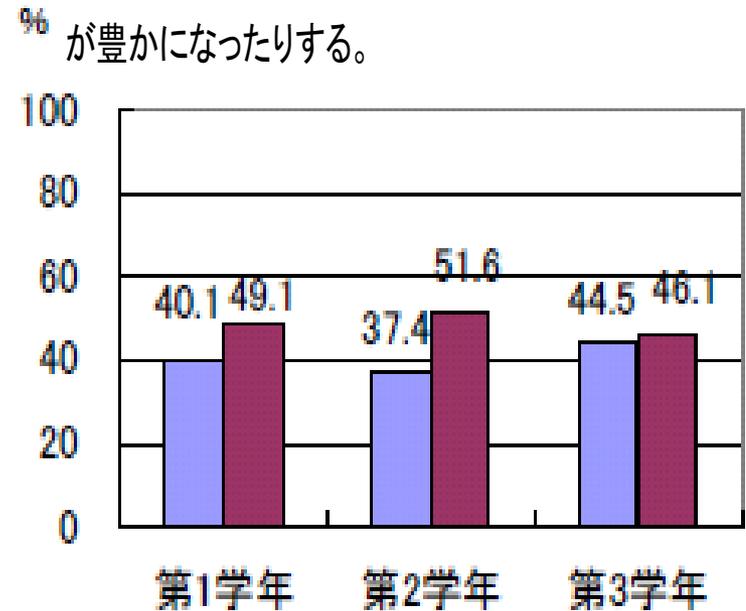
■ そう思う+どちらかといえばそう思う

■ そう思わない+どちらかといえばそう思わない

美術を学習すれば、私の普段の生活や社会に出て役立つ。



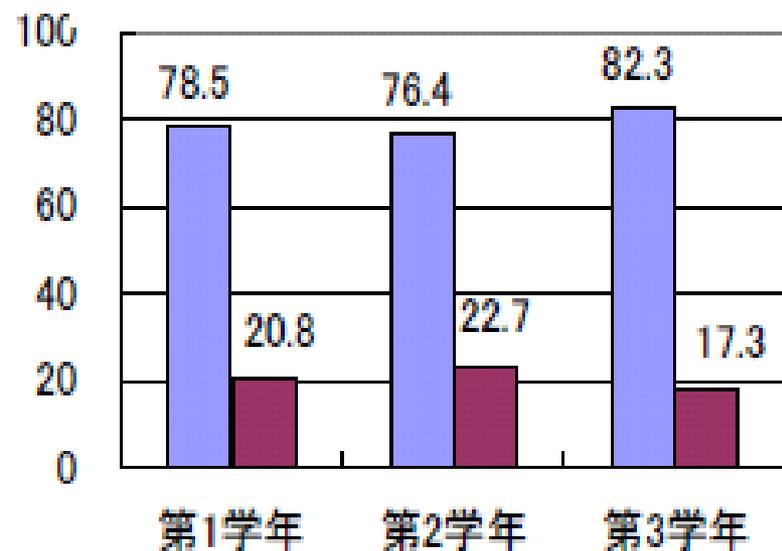
美術を学習すれば、私は、生活が楽しくなったり、心が豊かになったりする。



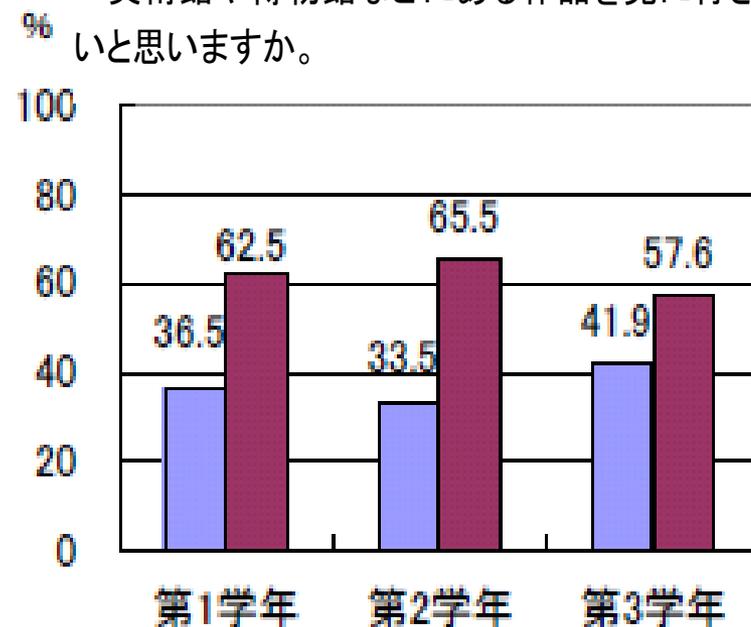
■ そう思う+どちらかといえばそう思う

■ そう思わない+どちらかといえばそう思わない

かいたりつくったりしているとき、時間を忘れて夢中になることがありますか。



美術館や博物館などにある作品を見に行きたいと思いますか。



■ そう思う+どちらかといえばそう思う

■ そう思わない+どちらかといえばそう思わない

平成16・17年度文部科学省委嘱調査報告書

# 義務教育に関する意識調査

## 報告書

平成17年11月 株式会社 ベネッセコーポレーション

(参考) 教科等の好き嫌い (「とても好き」「まあ好き」の合計)

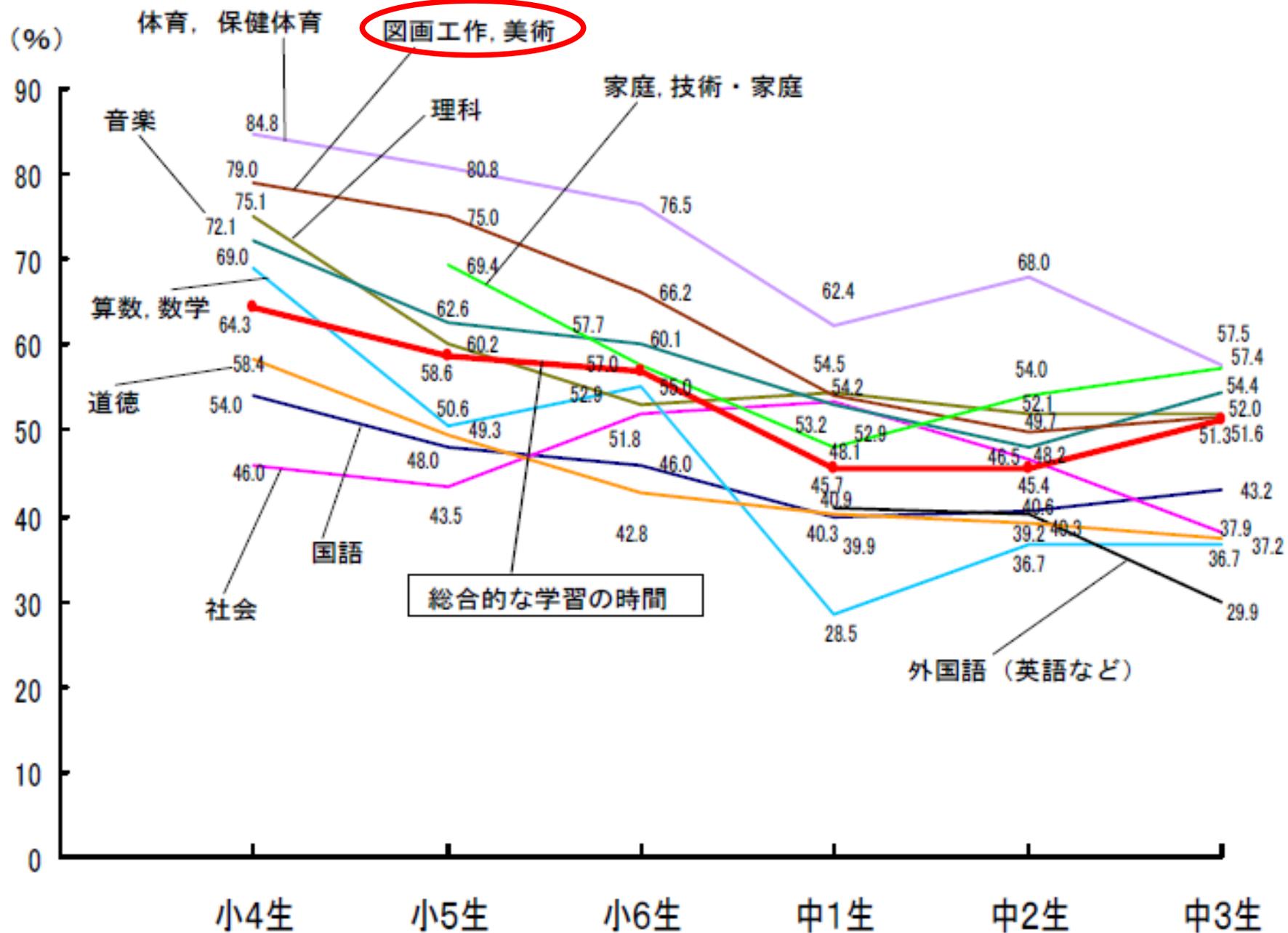
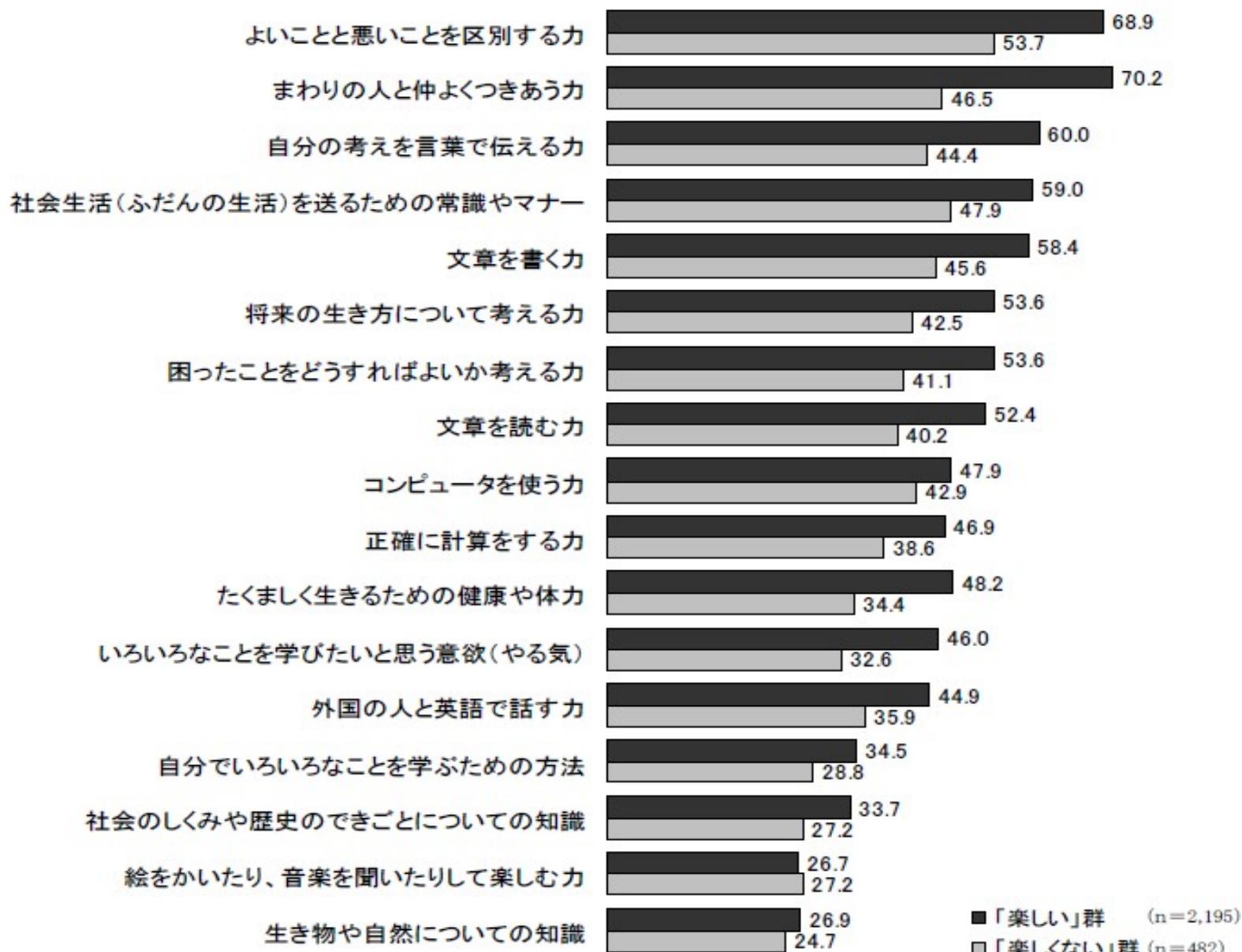
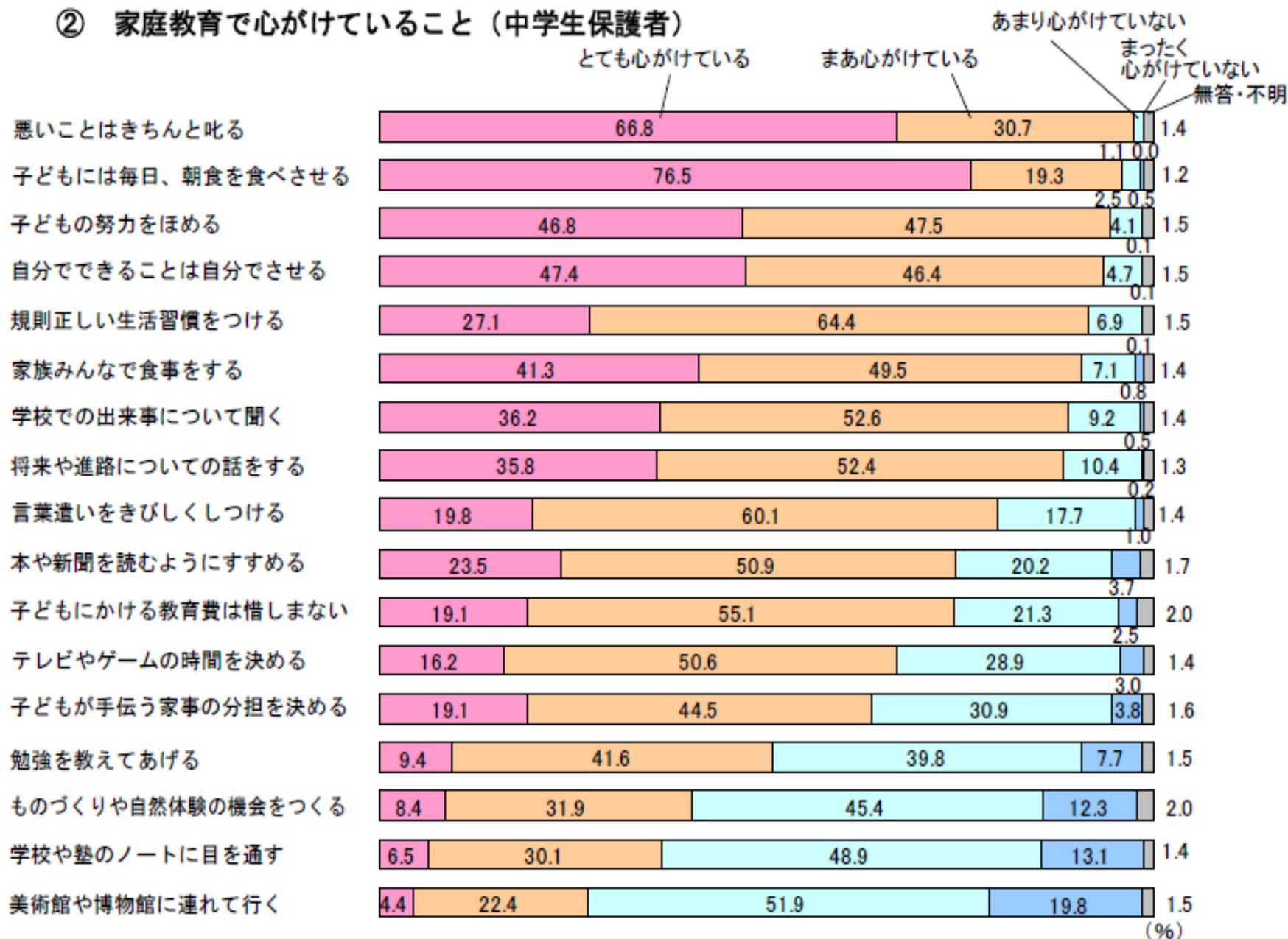


図 2-1-3 学校生活で身につける必要がある力（中学生、学校生活の楽しさ別）



\* 「とても必要」の比率 (%)。

## ② 家庭教育で心がけていること（中学生保護者）



# 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会における主な意見（抜粋）

- 芸術が学校教育の中で生活の潤いになり、感性や情操を培うことは重要であり、教育内容や方法を見直しながら、充実を図っていくことが必要である。
- 学校における芸術教育について、子供たちが生涯に渡ってそのよさを楽しむための資質・能力を養うきっかけとして重要である。
- 国の競争力の基盤はものづくりにある。その強みは、消費者の要求水準の高さや判断力にあり、競争力を支える大きな側面である。生み出されたものに対する判断力、目利きなどを大切に維持することが重要である。例えば、美術では、日本人の持っている微細な部分にこだわる文化やもの自体が持つよさなどを学びとっていくことが大切である。
- 教育課程部会の議論は知育に偏りがちである。芸術系教科は心の豊かさや感性を高める、情操を豊かにするなどの点で重要である。これ以上授業時間を削減することはあってはならない。
- 日本の学校のよさは、芸術について、常に一定の価値を認めて、時数を保持してきた点にある。国際学力調査の点数が高いことも、これらの教科に配慮してきたからだとする研究者もいる。一定の時数を確保し、この種の活動を価値あるものとする考え方を基本とすべきである。

## 中央教育審議会 初等中等教育分科会 芸術専門部会における主な意見（抜粋）

- 感性は知性に対立するものではなく、芸術教育の感性は知性を含んだものであり、知性に対しての突破口である。
- 芸術教育とは、すべての教科の土台となり、人間の精神や人間形成に資するものであり、言い換えれば「自分をつくる教科」である。
- 理性、概念、論理など、「科学の知」に対して、感情、情緒、イメージ、直感という心の内面にかかわる能力を「芸術の知」とすると、近代の中で「科学の知」だけでなく、心の内面を育てる「芸術の知」という視点から芸術教育全体をとらえ直していく必要があるのではないか。
- 図工・美術では現行指導要領を実施して4年になるが、教師の価値観を一方的に教えるのではなく、子供が活動したり、考えたりしながら知識や技能を身に付ける授業に変わってきている。
- 図工、美術という教科は、子供たちが世界に意味や価値を作り出していき、それを自ら享受していく力を付けていく教科である。次に、それと深く関わって触覚も含めたビジュアルなコミュニケーションの重要な能力を育成していく教科である。さらにそれが、世界の課題や機能というものを人間の生活の場に美的に統合し、形成していくことに繋がっていく教科である。

# 新しい学習指導要領

## 《美術》

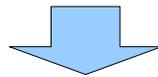
# 美術科における改善の具体的事項

- ◎ 育成する資質や能力を整理し、「A表現」を発想や構想に関する項目と、表現の技能に関する項目に分けて示し、柔軟な発想力や形・色・材料で表す技能などが関連して働くように内容の改善を図る。また、形や色、材料などから性質や感情、イメージなどを豊かに感じ取る力を育成するため、領域や項目などを通して共通に働く資質や能力を〔共通事項〕として示す。
- ◎ 生活や環境の中の造形のおよさや美しさなどを感じ取る学習や、自分の気持ちや伝えたい内容などを形や色、材料などを生かして他者や社会に表現する学習を一層重視する。その際、身近な環境について、安らぎや自然との共生などの視点から心豊かなデザインをする学習については、鑑賞の視点からの充実を図る。
- ◎ 鑑賞においては、よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、感じ取ったことや考えたことなどを自分の価値意識をもって批評し合うなどして、自分なりの意味や価値をつくりだしていくことができるように指導の充実を図る。また、鑑賞に充てる授業時数を十分確保するようにする。
- ◎ 我が国の美術についての学習を重視し、美術文化の継承と創造への関心を高める。また、諸外国も含めた美術文化や表現の特質などについての関心や理解、作品の見方を深める鑑賞の指導が一層充実して行われるようにする。

育成する資質や能力を整理し、「A表現」を発想や構想に関する項目と、表現の技能に関する項目に分けて示し、柔軟な発想力や形・色・材料で表す技能などが関連して働くように内容の改善を図る。また、形や色、材料などから性質や感情、イメージなどを豊かに感じ取る力を育成するため、領域や項目などを通して共通に働く資質や能力を〔共通事項〕として示す。



表現及び鑑賞の活動(=手段としての学習活動)の  
ねらい(育成する資質や能力)と、  
活動のプロセスを明確化



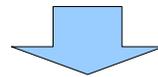
活動自体が目的と  
なっていませんか？

学習活動の改善を図る。

生活や環境の中の造形のよさや美しさなどを感じ取る学習や、自分の気持ちや伝えたい内容などを形や色、材料などを生かして他者や社会に表現する学習を一層重視する。その際、身近な環境について、安らぎや自然との共生などの視点から心豊かなデザインをする学習については、鑑賞の視点からの充実を図る。



- 「生活を美しく豊かにする美術の働き」の実感
- 「形や色などによるコミュニケーション」を通して、生活や社会と豊かに関る態度の育成

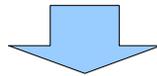


- 〔共通事項〕により、形や色への視点を明確化
- 表現においては、伝えたい内容を形や色で表現する活動の充実を図る。
- 鑑賞においては、生活の中の造形のよさや美しさなどを感じ取る学習の充実を図る。

鑑賞においては、よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、感じ取ったことや考えたことなどを自分の価値意識をもって批評し合うなどして、自分なりの意味や価値をつくりだしていくことができるように指導の充実を図る。また、鑑賞に充てる授業時数を十分確保するようにする。



鑑賞という行為において、生徒が自分なりの意味や価値をつくり出す学習を重視する。



国語科で培った言葉の力の基礎・基本をもとにして…

言語活動の充実を図る。

我が国の美術についての学習を重視し、美術文化の継承と創造への関心を高める。また、諸外国も含めた美術文化や表現の特質などについての関心や理解、作品の見方を深める鑑賞の指導が一層充実して行われるようにする。

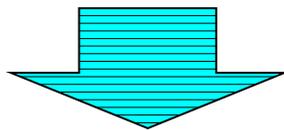


我が国の美術についての学習を重視し、第1学年に「美術文化に対する関心を高める」学習を新たに示し、3年間を通して美術文化に関する学習の充実を図る。

# 美術科の教科目標の改善

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。」

美術への関心  
・意欲・態度



「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」

発想や構想の能力  
創造的な技能  
鑑賞の能力

豊かな心

## 「美術文化についての理解を深め」は…

美術においては、古くからの美術作品や生活の中の様々な用具や造形などが具体的な形として残されており、受け継がれてきたものを鑑賞することにより、その国や時代に生きた人々の美意識や創造的な精神などを直接感じ取ることができる。それらを踏まえて現代の美術や文化をとらえることにより、文化の継承と創造の重要性を理解するとともに、美術を通じた国際理解にもつながることになる。以上のことから、美術科は文化に関する学習において中核をなす教科の一つであるといえる。

# 学年の目標について

- (1) … 美術への関心・意欲・態度に関する目標
- (2) … 「A表現」に対応し、発想や構想の能力、創造的な技能に関する目標
- (3) … 「B鑑賞」に対応し、鑑賞の能力に関する目標

## ○第1学年…

表現及び鑑賞の基礎となる資質や能力の定着

## ○第2学年及び第3学年…

第1学年で身に付けた資質や能力をさらに深めたり、柔軟に応用したり

# 目標及び内容の構造について

教科目標

実現

第1学年の目標

第2学年及び第3学年の目標

展開

実現

高次化

展開

実現

内容

(A) 表現

(B) 鑑賞

※ 共通事項

内容

(A) 表現

(B) 鑑賞

※ 共通事項

高度化

指導計画の作成と内容の取扱い  
を規定  
範囲や方法等

# 内容の改善のポイント

## A表現

(1)「絵や彫刻などに表現する活動」を通じた  
「発想や構想の能力」の育成に関する項目

ア … 感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出すこと

イ … 主題などを基に表現の構想を練ること

(2)「デザインや工芸などに表現する活動」を通じた  
「発想や構想の能力」の育成に関する項目

ア … 構成や装飾を考えた発想や構想

イ … 伝達を考えた発想や構想

ウ … 用途や機能などを考えた発想や構想

(3)「創造的な技能」の育成に関する項目

ア … 意図に応じて材料や用具を生かし、創意工夫して表現する技能

イ … 制作の順序などを考えながら、見通しをもって表現する技能

## A表現(1)

○「感じ取ったこと」は受け身ではなく、意識を働かせて何かを得ようとする能動的ななかかわりを意図している。同時に、自分の感覚を大切にして対象から価値などを創出することを意味している。例えば、花から「美しさ」を感じ取る人もいれば、「さわやかさ」を感じ取る人もいる。その価値や心情は定まったものではなく、見ている側が自分の感じ方で感じ取り、つくりだすものである。また、「考えたこと」は、内的あるいは外的な要因によって心の中に思い描いたことや願いなどである。

○「主題など」の「など」は、感じたことや思いなど、主題とまではいえないものも構想を練るときの対象としていることを示している。主題を基に構想を練ることを基本に据えながらも、生徒の興味、関心や学習のねらいに応じて、例えば材料などに触れて感じたことなどから、構想を広げて表現する活動なども含まれている。

## A表現(2)

○この学習における「発想や構想」は、伝える、使うなどの目的や機能を基に、対象や材料からとらえたイメージ、自己の思いや経験、美的感覚などを関連させながら育成するものである。特にここでは、他者に対して、形や色彩、材料などを用いて自分の表現意図を分かりやすく美しく伝達することや、使いやすさなどの工夫が他者に受け止められるようにすることが重要である。したがって、形や色彩、材料などを、単に自己の感覚のままに用いるのではなく、他者に対しても共感が得られるように、造形やその効果に対する客観的な見方やとらえ方の指導が必要になる。

## A表現(3)

○この事項は単に用具の使い方や技法を覚えることに終始するものではない。この事項で身に付けさせるべき創造的な技能とは、自らが発想や構想をしたことを基に表し方を創意工夫し、創造的に作品をつくりあげていく際に働く資質や能力である。したがって、生徒の創造的な技能の伸張を図るには、表現活動の中で、生徒が自分のもっている力を発揮しながら、表現方法を選択したり、試行錯誤しながら創意工夫したりする場面を意図的に位置付け、発想や構想の能力と、それを表現する技能とを関連付けながら指導することが重要である。

○生徒が形や色彩の表し方、材料や用具の扱いや生かし方などを身に付けることは、生徒一人一人が自分らしさを発揮し、試行錯誤しながら表現を工夫し追求する上で重要である。また、中学校美術科においては、小学校図画工作科の学習や各学校の特性、生徒の実態などを踏まえ、創造的な技能を育成するために効果的な内容を工夫・設定できるように、必ず指導しなければならない材料や用具を特定していない。そのため、題材設定に当たっては、材料や用具、表現方法などが、生徒にとって適切であるかどうか、十分に検討することが大切である。

# 内容の改善のポイント

## B鑑賞

(1)「美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動」を通じた鑑賞の能力の育成について

- ①造形的なよさや美しさなどに関する鑑賞
- ②生活を美しく豊かにする美術の働きに関する鑑賞
- ③美術文化に関する鑑賞

第1学年：ア…①，イ…③

第2・第3学年：ア…①，イ…②，ウ…③

第1学年「思いや考えを説明し合うなどして…」

第2・第3学年「自分の価値意識をもって批評し合うなどして」

## B鑑賞(1)

○鑑賞において造形的な視点を豊かにもって対象をとらえるためには、言葉で考えさせ整理することも重要である。なぜなら、言葉にすることにより、それまでは漠然と見ていたことが整理され、美しさの要素が明確になるからである。さらに、言葉を使って他者と意見を交流することにより、自分一人では気付かなかった価値などに気付くことができるようになる。このように、対象のよさや美しさ、作者の表現意図や工夫などを豊かに感じ取らせ、考えさせ、味わわせるためには、造形に関する言葉を豊かにし、言葉で語ったり記述したりすることは有効な方法であるといえる。

# 内容の改善のポイント

## 〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」を通して、次の事項を指導する
- ア … 形や色彩, 材料, 光などの性質や, それらがもたらす感情を理解すること
  - イ … 形や色彩の特徴などを基に, 対象のイメージをとらえること

## 指導計画の作成と内容の取扱いについて

次の点が新たに加えられた。

- 〔共通事項〕に関する事項
- 道徳教育に関する事項
- スケッチや映像メディア, 漫画, イラストレーション等の表現形式などは, まとめて整理して示す。
- 知的財産権や肖像権などに配慮し, 自己や他者の創造物等を尊重する態度の形成を図るようにする。

## 〔共通事項〕

### ○〔共通事項〕を位置付けた指導

「A表現」及び「B鑑賞」のそれぞれの指導事項において、〔共通事項〕を適切に位置付けて題材の設定や指導計画の作成を行う必要がある。〔共通事項〕を位置付けた各領域の指導については、次のような例が考えられる。

「A表現」(1)では、主題を生み出す場面で、形や色彩の性質や、それらがもたらす感情に着目させて対象を多様な視点でとらえたり全体のイメージをとらえたりするなど、どのような感じを表現したいのか主題を深く考えさせる。…

「A表現」(2)では、用途や機能、分かりやすさや美しさなどを考えて発想や構想をする場面で、「温かさが伝わる色彩」、「使う人の手に優しい形や材料」など、客観的な視点で形や色彩、材料、光などの性質や感情の効果を生かして、分かりやすさや使いやすさ、心地よさなどが他者に伝わるように発想や構想をさせることなどが考えられる。

「A表現」(3)では、創造的な技能を働かせる場面で、形や色彩、材料などがもたらす感情など〔共通事項〕を意識させて、技能を働かせることなどが考えられる。単に作業的に「赤色で花びらを塗る」、「木を削る」といった技能ではなく、「柔らかい感じが出るように赤い花びらを塗る」、「なめらかな感じが出るように木を削る」など、表したい感じを意識させることが大切である。…

「B鑑賞」では、作品などに対する思いや考えを話し合い、対象の見方や感じ方を広げる場面で、作品の色彩から受ける感情に注目させて感じ取らせたり、作品全体のイメージをとらえさせたりすることなどが考えられる。…

# 生徒の創造活動

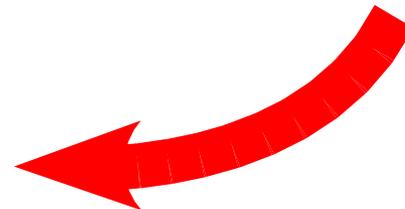
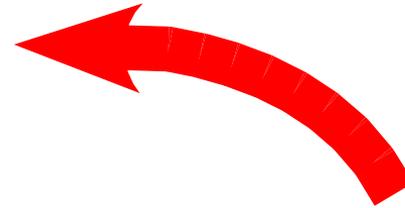
## 自己実現的な喜びの実感

### 創造活動の喜び

作品を創造する喜び  
表現方法を創造する喜び  
よさや美しさ(価値)を  
創造する喜び  
思いや意図(意味)を  
創造する喜び



生徒が、もてる  
力を十全に発揮  
させ伸長させる



表現においても鑑賞においても、  
題材設定における中心課題は…

目的

「生徒自身がもっている、  
素晴らしい創造的諸能力を、  
どれだけ、思いっきり  
働かせ高めることができるか…」

であって、

手段

「教師自身が、どれだけ教えるか…」

ではありません。

生徒の学習活動



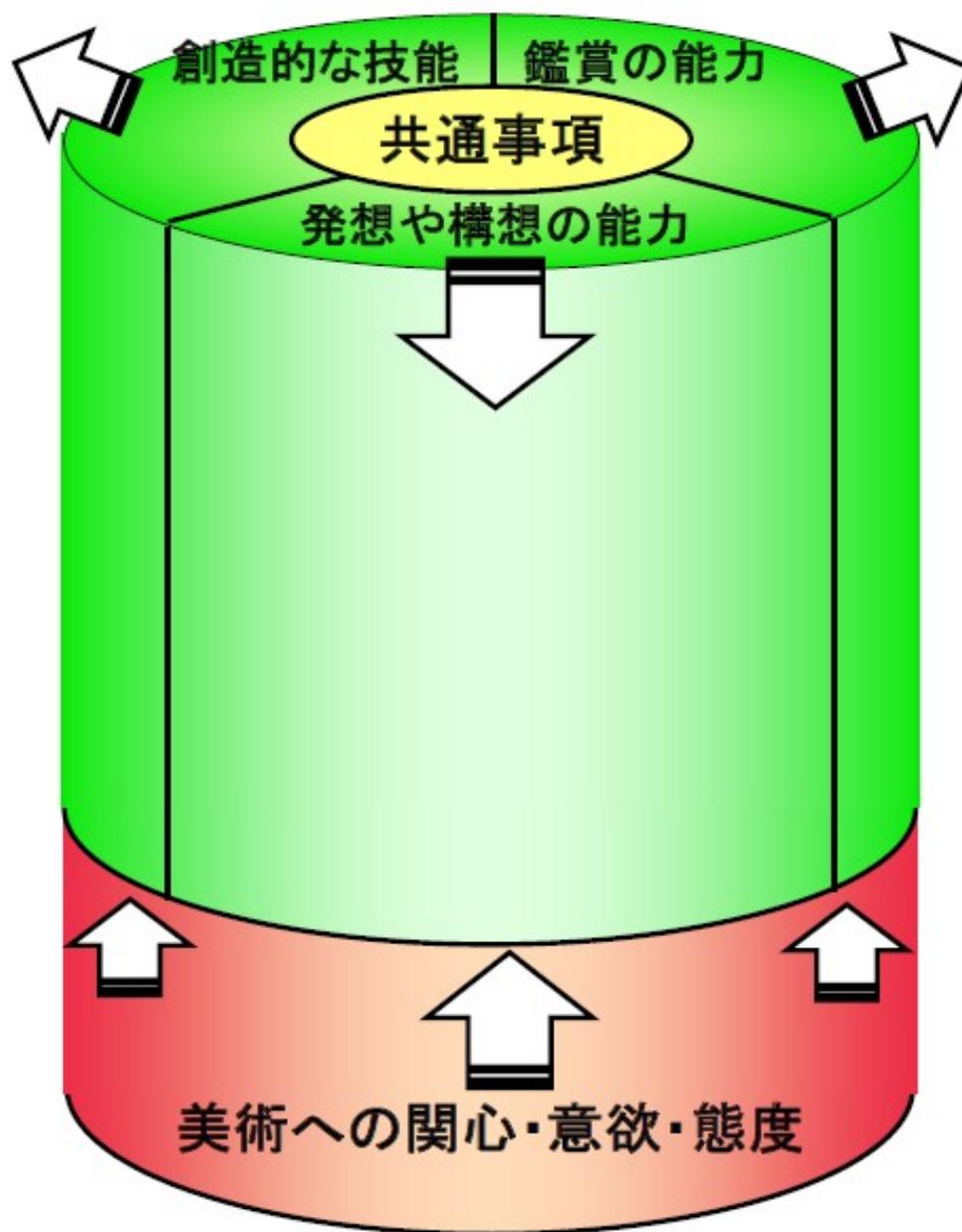
創造的な諸能力は、日常生活の中で「生きる力」として、よさや美しさを求める心や行為となって表れる力である。人が身の回りの環境と豊かに交流しながら、環境と自分自身をよりよく更新し続け、新しい意味や価値を創造し、心豊かな生活や人生をつくりあげていくための重要な力である。

「人間の人間たる所以、人間性の本質は、…言いかえれば、一人ひとりの個人が自己の内なる精神的創造と、それに基づく外なる物質界の創造的改変とを通じ、絶えず新しい何かによって自己の精神と外の世界とを豊かにしつづけることのできる存在者であるということに、存するのである。」

アンリ=ルイ・ベルクソン (Henri-Louis Bergson)

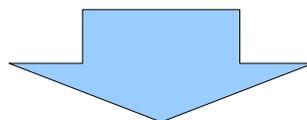
「教育の一般的な目的は、個々の人間に固有の特性の発達をうながし、同時に、そうして引き出された個人の特性を、その個人が所属する社会的集団の有機的な結合と調和させることである、…この過程において「美的教育」が根本的な役割を果たす。」

ハーバート・リード (Herbert Read)



文化的知識や作品解釈の方法・技術の習得

## 作者・作品中心の価値観



作品解釈や価値判断はまったく個別的な創造的行為

## 鑑賞者中心の価値観

美術館…

価値創造的な出会い，相互作用，交流の場

＝開かれた広場